

会 議 録

会議名	第 1 0 回松本地域公共交通協議会・第 1 0 回松本地域公共交通会議
日 時	令和 7 年 2 月 1 3 日（木） 1 4 時 0 0 分から 1 5 時 0 0 分まで
場 所	松本市役所大会議室
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 (1) 松本地域公共交通協議会 【議案第 1 号】ぐるっとまつもとバス令和 7 年春のダイヤ改正について (2) 松本地域公共交通会議 【議案第 1 号】松本地域公共交通利便増進実施計画の一部変更について 4 そ の 他 5 閉 会
資 料	1 次第 2 会議資料

出席者 (敬称略)	【会 長】	高 瀬	達 夫	(信州大学工学部)
	【委 員】	新 倉	孝 礼	(国土交通省北陸信越運輸局)
		山 岸	康 範	(国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局)
		丸 山	正 徳	(長野県企画振興部交通政策課)
				(代理：中川 誠)
		松 島	弘 子	(松本地域振興局企画振興課)
		中 川	文 晴	(松本建設事務所維持管理課)
		椎 名	祐 二	(松本警察署交通第二課)
		伊 藤	亮 二	(松本商工会議所)
		大 川	敦	(東日本旅客鉄道株式会社長野支社企画総務部)
		斉 藤	敦	(アルピコ交通株式会社)
		三 澤	洋 一	(松本地区タクシー協議会)
				(代理：古田 哲也)
		大 内	清 彦	(アルピコ労働組合松本電気鉄道支部)
		細 川	明 彦	(松本地区ハイタク労働組合会議)
		中 田	景 文	(松本市町会連合会)
		草 深	邦 子	(松本市民生委員・児童委員協議会)
		岡 田	大	(松本市P T A連合会)
		鳥谷越	浩 子	(中信地区高等学校長会)
		新 居	禎 三	(松本地域公共交通協議会山形村部会)
		北 村	直 樹	(松本地域公共交通協議会朝日村部会)
		堤	岳 志	(山形村)
		清 沢	光 寿	(朝日村)
		田 原	茂	(松本市)
			(欠席者 1 名)	
	【事務局】	松本市	交通部	公共交通課
				交通ネットワーク課

1 松本地域公共交通協議会

協議事項

議案第1号 ぐるっとまつもとバス令和7年春のダイヤ改正について

- 事務局：資料に基づき説明
 - 委員：別紙1の一番下に『※時間帯により、起終点を短縮した系統がある』と記載あるが具体的にどの区間と時間帯を短縮するのか。
 - 事務局：現在の大久保工場団地線は管理会館バス停が起終点となっているが、大久保工場団地・神林線では朝の時間帯は管理会館に寄り神林まで向かい、神林から戻る際は管理会館を通過するという形になった。
 - 委員：起終点を短縮するのではなく、途中の管理会館を短縮するというものでいいのか。
 - 事務局：管理会館を通らない系統があるという説明をしたとおり、文章では起終点という表現になっているが、途中で止まらない停留所があるというように訂正したい。
 - 委員：慢性化している遅延の改善のためスケジュールを組んだとあるが、この遅延は実際に走らせているものからの改善なのか、クレームがあり改善するものなのか。
 - 事務局：乗務員からの聞き取りによるものである。路線によってはクレームがあるが、乗務員の生の声を聞き取ったものである。
 - 委員：バス停を新設・移設する際は警察に許可認可は受けているのか。
 - 事務局：バス停の変更で、交差点内や横断歩道周辺のバス停が道交法違反となる場合がある。新設のバス停や移設に関しては、警察と協議した上で設置している。
 - 委員：バス停が交差点にかかっているなど非常に危険なバス停があると認識している。会社を通じて上げるが、ぜひ対応してほしい。
 - 事務局：停留所について危険な箇所があるというご指摘いただいたが、それについても会社を通じてご指摘いただければ、検討していく。
 - 委員：2月に行われた説明会はどうだったのか。
 - 事務局：昨年12月から1月にかけて、神林地区の町会長に神林ライナーの現状と統合案を説明してきた。一日2便で運行していたものが、大久保工場団地線が4便に増便となることで、地域のためになると了承をいただいた。その後、住民説明会を行い運賃やダイヤについて質問を受けた。お子さんが利用者であり、神林ライナーで松本駅まで直接行けていたものが、改正より朝は南松本山形線に乗り、南松本駅より電車で松本駅まで向かうところになり、乗り継ぎが発生することを心配した保護者の方より心配の声が上がった。乗り換えについてもダイヤを調整したり、乗り遅れ等がないように配慮していることを説明し、納得してくれた経過がある。
- <議案第1号について了承>

2 松本地域公共交通会議

協議事項

議案第1号 松本地域公共交通利便増進実施計画の一部変更について

- 事務局：資料に基づき説明
 - 委員：ダイヤで運行して、利用状況の検証はするのか。
 - 事務局：毎年、検証することになっている。
 - 委員：神林ライナーと大久保工場団地線の利用状況はどうなのか。
 - 事務局：神林ライナーは、2. 2人／便。平日使っている方がおおむね3人。大久保工場団地線は、収支率100%を超える優良路線。エプソン駐車場での転回を予定しているので、さらに通勤利用が増えることを期待している。
 - 委員：新路線の利用が増えると思うが、車両的に問題ないか。
 - 事務局：通勤用ではなく、通常のバスのため問題ない。
 - 委員：現在の大久保工場団地線の朝の利用人数はどのくらいか。
 - 事務局：朝15人程度である。
- <議案第1号について了承>

以 上

--	--